

この国が科学技術創造立国であり続ける為の政策の一環として、平成8年に「ポストドクター等1万人支援計画」が提唱されました。平成11年には、予定より1年早く目標の1万人を越え、その後、その数は漸増し続けています。実際に、若手技術者・研究者が本当に増えたことを身近に感じている方は少なくないでしょう。

しかし、ポストドクが必ずしも若手にとって魅力的な制度になっていない現状も浮かび上がっています。たとえば、競争的資金への応募資格がない、育児休暇や社会保険が整備されていない、など研究者・技術者として、さらにそれ以前に、労働者としての基本権利すら保障されていない場合もあるのです。

本ミーティングでは、この国が真の科学技術創造立国になることを願って、(自称)若手から広く寄せられた意見を元に、若手任期付き制度の今後のあり方について、若手の視点・ボトムアップの視点で「提言」します。特に、これから研究の道に進もうとする学生が将来に希望を持てるような展望を提示したいと思います。

## 「提言」 募集中

本ミーティングの詳細については以下のHPをご覧ください。  
<http://annex.jsap.or.jp/gender/2004im/>  
皆様の提言は8/20まで受け付けています。上記HP記載の連絡先までご意見をお寄せ下さい。

# 若手からの提言

多様化するライフスタイルとキャリアプラン

若手技術者・研究者の未来予想図

開催日：2004年9月2日(木)  
時間：13:00 - 15:30  
会場：東北学院大学泉キャンパス  
(秋季学術講演会会場)

### プログラム

司会 大橋良子(慶大)

1. 応用物理学会会長挨拶  
神裕之(東大)
2. 学術会議での取り組み紹介  
後藤俊夫(前会長・名大)
3. 委員会活動・学協会連絡会  
アンケート報告  
近藤高志(東大)
4. ポストドク制度の実態報告  
中村淳(電通大)
5. パネルディスカッション  
「研究環境・待遇」「キャリアパス・人材活用」の2つのテーマを元に、若手から募ったパネリストと会場を交えて意見交換を行います。
6. まとめと提言  
青木画奈(東大)

お問い合わせ先  
応用物理学会事務局 伊藤  
Tel: 03-3238-1041  
E-mail: ito@jsap.or.jp